

No.	意見者	該当ページ	当該箇所	提案・意見等	対応
1-1	石幡委員	6	社会参加や地域活動で健康に	中段の地域福祉活動又はサークル活動等に老人クラブを例として記載できないか。	前回の審議会での議論を踏まえ、老人クラブの名前を追記しました。
1-2	琉委員	7	コラム 社会参加の健康効果	中段の文字が小さい箇所をもう少し大きくできないか。	中段の「注」性、年齢～総得点」と下段の「認知機能～を算出」の2か所を拡大しました。
1-3	琉委員	11	持続可能な開発目標(SDGs)との関連	ページ下部のスペースを活用し、個々のアイコンを今より大きくできないか。	アイコンの配列を変更し拡大しました。
1-4	寺谷委員	31	圏域の設定	包括支援センター・高齢者なんでも相談室について、本計画での記載方法は、市民に案内しているチラシ等と整合性を図る必要がある。	チラシ等での記載方法と同様に、「(地区)なんでも相談室(地域包括支援センター)」と記載しております。
1-5	牧委員	62	自治会活動への参加	「方向性」の「自治会役員の負担軽減を図るための様々な情報提供や支援」について具体的にどのような支援を行っているのか。	新任自治会長説明会の開催、及びホームページや自治会ハンドブックの配布等を通じ、自治会への補助制度等の周知に取り組むとともに、窓口や電話等での相談や問合せ対応を通じ、各自治会個別の状況に合わせた支援を図っています。
1-6	山田委員	76	地域コミュニティ・自治会の活性化	・マンション住民においては市が期待するような自治会活動はあまり行われていないのではないのか。 ・マンション等で自治会活動が行われていない地域については市は把握しているのか。 ・そのような地域での自治会活動の推進等について市はなにか考えているのか。	自治会活動はマンション自治会に限らず各地域の状況にあった活動がなされているものと承知していますが、市内全てのマンションの実態については把握はしておりません。 なお、現在市内では13のマンション自治会が設立されており、その中でも夏祭りなどのイベントの開催や、自治会独自のホームページや電子回覧板等を活用し、積極的にコミュニティの醸成に努めている自治会があることは把握しています。 マンション自治会に関する推進策としては、新規に建築される際の開発行為等の市との事前協議の際に、自治会加入や設立について奨励するとともに、マンション自治会設立に向けたハンドブックの作成や説明会の開催等も随時行っております。
1-7	鎌田委員	87	包括的な相談支援体制の推進	「方向性」に記載のある「出向く相談」についても「市の取組み」に盛り込むできないか。	「出向く」相談についての記載を加えました。
1-8	山中委員	92	福祉サービスによる支援 子ども・子育て世代支援	「養育環境への配慮」の「児童虐待防止対策」の中身について、具体的にどのような取組みを行っているのか教えて欲しい。	虐待DV防止対策室では、児童虐待防止対策として、専門職の配置やケースワーカーの増員により、相談体制の充実を図っています。また、地域の関係機関と情報共有しながら、支援ニーズの高い子どもや家庭の見守り・支援を行っていますが、児童虐待の防止や早期発見のため、保育園や学校等子どもが所属している機関の職員を対象に、子どものSOSを早期にキャッチできるよう、毎年児童虐待防止対策研修会を開催し、児童虐待に関する知識や理解を深めていただいております。
1-9	牧委員	3章全般	3章全般	3章における各ページの「方向性」について内容をわかりやすくするため、箇条書き等の記載方法を検討して欲しい。	「方向性」において、複数の項目が併記されていた下記のページについて箇条書きに改めました。 p76、94
1-10	寺谷委員	106	コラム	「災害時における避難行動要支援者への支援」は重要なテーマであるため、コラムとして本計画に掲載する必要があるのではないか。	避難行動要支援者の支援に関するコラムを追加しました。 p106
1-11	琉委員	計画全般	計画全般	「みんな」という表現は基本理念として使用する分には問題ないが、通常の文章のなかで使用するのは不適切ではないか。	文脈に合わせて「みんな」という表現を改めました。 p25、55、75、95
1-12	鎌田委員	計画全般	計画全般	「心身ともに健康～」という記載は表現が強いため、単に「健康～」という表現が良いのではないか。	表現を改めました。 p4、6、25、46、64、65

NO「1-1」～「1-12」は第4回審議会における質疑への回答です。